



岩手県環境保健研究センター

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡一丁目 11-16

TEL 019-656-5666 FAX 019-656-5667

E-mail CC0019@pref.iwate.jp

<http://www.pref.iwate.jp/kanhoken/>

= お問い合わせ先 =

【担当】地球科学部 部長 佐藤 卓・上席専門研究員 小山田 智彰

新しいわてレッドデータブックAランク登載

「オオアカバナ」被災地調査で県内初確認し、保護

岩手県環境保健研究センターでは、絶滅の危機に直面した植物の保護に取り組んでいます。今回は、2011年に東日本大震災の津波による希少植物の被害状況を調査していた際に、岩手県北部の沿岸でみつけたオオアカバナを紹介します。オオアカバナは環境省レッドデータブックにおいて絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。他県では、秋田県と石川県で絶滅しており、福島県で絶滅危惧Ⅱ類、新潟県で絶滅危惧Ⅰ類、長野県で絶滅危惧ⅠA類に指定されるなど、とても貴重な植物です。

1 概要

「オオアカバナ」は、2011年に実施した東日本大震災後の植物調査で偶然発見しました。岩手県内での確認は初めてとなり、この発見を受けて、新しく改訂された「いわてレッドデータブック2014」にも登載され、絶滅危惧種 A ランクに指定されました。

2 成果

今回の発見は、岩手の豊かな自然を証明するとともに、絶滅危惧種が生育する沿岸部の環境が残されていることを示すこととなりました。発見から4年が経過した現在も継続的に確認調査を行い、

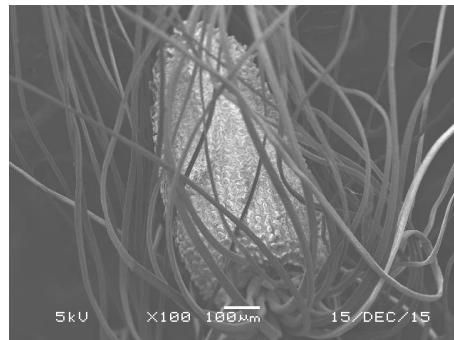
沿岸地域の復興スピードに乗って自然保護をリンクさせた活動を行っています。

3 成果の活用

オオアカバナの発見につながった沿岸調査により希少植物の現状が徐々に明らかになってきました。この中で特に絶滅の危機に直面している植物については工事に取り組む機関にも情報を共有していただき、保護を進めております。これらの成果については、今年2月に東京で開催する自然環境復元学会全国大会で発表することにしております。



写真1 オオアカバナ

写真2 種子の電子顕微鏡写真
冠毛と種子表面の突起が特徴